

議会だより チェック・アンド・バランス おがわ

Proud!
Japan

平成 24 年度決算認定

くらしに こう活かされ ました

議会体制が
新しくなりました P.7

町民の声を町政に
10 人が一般質問 P.8



みんなで富士山をつくりました（小川小運動会）

No. **69**
2013.11.1

くらしにこう活かされました

栃本親水公園施設整備事業
8380 万円 (用地買収費用含まず)
(公衆トイレ、太陽光・水力発電、
水車小屋、健康遊具の設置)



問 釣りの管理、時計の設置
は。健康遊具を幅広い層に
使ってもらう工夫は。
答 釣りは、漁業組合の管轄
になります。時計の設置は、
住民の皆さんからの要望も
あるので考えていきます。業
者の協力で、遊具の使い方の
デモンストレーションを行
なう予定です。

栃本親水公園の
活用は

町民の憩いの場と
渋滞緩和に期待

高齢者肺炎球菌ワクチン
補助事業 接種者 397 人

橋の長寿命化
計画の策定

高齢者熱中症対策
820 人に湿温度計配布

平成 24 年度 主な
重点事業

西中学校
改築事業
設計や設備工事
(平成 25 年度も継続)

防災事業
備品購入や防災行政無線
操作卓の更新工事

町道 228 号線 (バイパスう回路)
整備事業 3 億 1680 万円
(用地買収、道路改良工事)



進捗状況は
問 八和田地区内における 22
8 号線工事の今後の進捗状況
と、それに伴う国道 254 号バ
イパスのアクセス道路の 4 車線
化は。
答 平成 25 年度に工事の発注、
平成 26 年度に国に予算要望を行
ない、それが通れば平成 26 年度
中に完成する予定です。アクセ
ス道路の 4 車線化は県も実施を
約束していますが、具体的な工
事の時期はまだ不明です。

総質疑数 210 件 (本会議 89 件、委員会 121 件)

平成
24 年度
決算
一般会計

《主な質疑》

今定例会は、平成 24 年度の一般会計ほか各会計決算の認定を中心に、平成 25 年度一般会計及び特別会計補正予算、条例の改正、人事案件、議員提出議案など 20 件の審議を行ない、すべて可決・認定・同意しました。
松本修三議長・山口勝士副議長の辞職に伴い、議長・副議長選挙が行なわれ、小林一雄議長、宮澤幹雄副議長が選出されました。また各常任委員会委員、一部事務組合議員改選も行なわれました。
なお一般質問には 10 人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

平成 24 年度 一般会計・特別会計決算

項 目	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	98 億 8119 万 6 千円	95 億 1734 万 1 千円	3 億 6385 万 5 千円
国民健康保険特別会計	35 億 8101 万 4 千円	34 億 8022 万 2 千円	1 億 79 万 2 千円
後期高齢者医療特別会計	3 億 1963 万 6 千円	3 億 1732 万 8 千円	230 万 8 千円
介護保険特別会計	22 億 3687 万 7 千円	21 億 8202 万 円	5485 万 7 千円
下水道事業特別会計	6 億 3940 万 9 千円	6 億 535 万 3 千円	3405 万 6 千円
農業集落排水事業特別会計	7290 万 2 千円	6924 万 7 千円	365 万 5 千円
水道事業会計収益の収支 (税抜)	事業収益 5 億 9498 万 8 千円	事業費用 5 億 7483 万 6 千円	純収益 2015 万 2 千円

町有財産の活用は

問 旧上野台中・旧下里分校の利用計画はできたのか。

答 平成24年度中に検討委員会の方針を決めて、計画を立案していました。調査・研究をする中で問題点や課題点に分かり、再検討することになりました。今後は、地域のご意見を十分に取り入れる形で計画をしていきます。

合併浄化槽の現状と今後

問 下水道計画が進む中、合併浄化槽で対応せざるを得ない地域の促進のために『市町村設置型』を取り入れていくことはできないのか。

答 計画をして推進するためには、財政的に厳しい状況です。また、個人宅内に町有財産を設置するため、維持管理等の課題がたくさんあるのも計画できない理由です。

防災行政無線の難聴地域対策は

問 寄居町では、放送内容をテレホンサービスで確認できるようにだが、当町は。

答 当町では考えていません。適宜、スピーカーの方向や音量の調整を図るとともに、メール配信サービス等に対応します。

平和推進事業の充実

問 広島平和式典に参加した中学生の経験をどう活かしていくか。しっかりとしたプランを持つて、なお実体のある活動にするべきでは。

答 校長会等で意見交換を行ない、検討します。

コンビニ収納の効果は

問 コンビニ収納が開始されたが、効果は。

答 対象となる各種税のおおむね2割弱を、コンビニ収納していただいています。また滞納者に対し、利便性の向上と啓発の手段の1つとして効果を上げています。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種

問 接種者数と周知は。

答 対象者約4500人のうち、接種者は397人で、接種率は約9%です。広報・ホームページ・ポスター等で周知を行ないました。今後は医師会や高齢者講座等とも相談して、周知を図ります。

老朽化した学校給食センターの今後

問 給食センターのあり方について、委員会での結論は。

答 平成25年3月23日付で、委員長から報告書が提出されました。報告書では、ドライシステムを導入して建てかえるとの結論でした。今後は財政担当と相談しながら時期を検討していきます。

学童保育の課題は

問 八和田学童保育以外の6学童保育は、会計処理などさまざまなことが親の負担になっているが、どのように考えているのか。

答 保護者のご苦勞はよく承知しています。模索中ですが、軽減を図るよう近いうちに各代表者と話し合い、検討していきます。

町民会館の目的外使用料

問 出入り業者が食事を提供する際に、手数料と目的外使用料が二重請求となっているが、業者の負担とはならないのか。また、このことを

話し合ったことはあるのか。

答 目的外使用料とは、冷凍・冷蔵庫等の光熱使用料となっています。食事を提供する際

は、13%の手数料が同時に請求されています。実際に生の声は聞いていません。

の支援事業かは、個々の希望に合わせてサービスの提供が必要だと考えます。

農業集落排水事業

問 収入未済額、一般会計からの繰入金は少なくなっているが、多大な維持修繕と管理費が主のようである。今後加入者増が見込めず、老朽化したポンプの改修費用等がかさんでくると考えられるが、これからの見通し・計画は。

答 接続率が昨年の82・7%から83・7%と若干上向いていますが、さらに上がるよう組合で啓発活動が続けています。修繕費用は、国の機能強

水道事業

問 もっとも高かった平成17年度の有収率93・1%に対し、平成24年度は88・8%となっ

た事業認定を受け、その補助金で対応していきたいと思っています。

ているが、原因は。

答 漏水が平成23年に47件、平成24年に57件あり、これが大きな要因です。また、火災や漏水工事等の多い年は、メーターを通らないで出てしまっているため、有収率が下がります。

国民健康保険

問 国民健康保険税の不納欠損額が、昨年度に比べて増えているが。

答 不納欠損となる理由は、無財産・生活の困窮・納税者の居所不明等があります。増えているのは、不景気や法に基づいた厳格な欠損処理を行っている結果です。

介護保険

問 軽度の方が介護サービスを受ける場合、受ける側の希望と施設が提供するサービスにズレがあると感じる。施設で行なうサービス以外の地域で行なっているサービスを求める方もいるのではないか。

平成24年度 特別会計 決算

問 ケアプランを立てるときには一定期間試用してから意向を聞くので、本人の希望は反映されていると考えます。施設でのサービスか地域で



集落排水ポンプ室



胃がん検診車

平成25年度 一般会計 補正予算

問 がん検診の受診者が1・5倍に増えているとの報告があるが、今後この状況をどのように定着させていくのか。

答 今年度の新たな取り組みとして、保育園・幼稚園・学童クラブ等の保護者の方にチラシを配り、若い方々にも受診を積極的にしていただきたいと試みま

した。来年度も同様の取り組みをするとともに、町内の中小企業を訪問して、依頼・啓発を行っていきます。

問 小中学校のエアコン設置について、設置までの具体的な工程・工期は。

答 補正の承認後、設置に向け詳細な積算を進め、新年度予算に計上をしていく予定です。早ければ、来年度に設置工事を行なえるように道筋を考えていきます。設置工事は、来年の夏休み期間になるかと思

議会体制が新しくなりました



総務常任委員会

所管課：総務・政策推進・税務・会計

前列右から
小林 一雄
松葉 幸雄
高瀬 勉
山口 勝士
井口 亮一
大戸 久一
後列右から
山本 修三
根岸 成美
宮澤 幹雄
松本 修三
大塚 司朗
柴崎 勝



経済建設常任委員会

所管課：産業観光・建設・環境保全・水道

前列右から
大塚 司朗
金子 美登
島崎 隆夫
松本 修三
柴崎 勝
後列右から
山本 修三
根岸 成美
宮澤 幹雄
松本 修三
大塚 司朗
柴崎 勝



厚生文教常任委員会

所管課：町民生活・健康増進・福祉介護・子育て支援・学校教育・生涯学習

前列右から
高橋 さゆり
戸口 勝
柳田 多恵子
宮澤 幹雄
根岸 成美
後列右から
山本 修三
根岸 成美
宮澤 幹雄
松本 修三
大塚 司朗
柴崎 勝



議長 小林一雄



副議長 宮澤幹雄

就任のごあいさつ

去る9月5日の定例議会において、第40代議長に選任いただきました。その重責に身の引き締まる思いであります。

町の多くの課題に向かい、住民の立場からしっかり町の将来を見据えて、町の発展のため町政を支え、誠実に円滑な議会運営に努めてまいります。

最大の課題の1つに人口減少があります。ホンダ関連など企業を誘致して地元の雇用を増やし、若者が定住し、住んでよかったと思っていただける町づくりが必要です。

また、小川赤十字病院の改築への支援と協力を行ない、地域医療を充実し、そして必要とされている高齢者への介護施設の充実、商店街の活性化と支援など、議会としての協力をしなければなりません。

微力ではございますが、よりよい町政推進のため、宮澤副議長とともに真剣に全力を尽くしてまいります。

小林一雄

●議会運営委員会

◎井口亮一 ○根岸成美
金子美登・松葉幸雄・戸口 勝・松本修三

●小川地区衛生組合議会議員

小林一雄・戸口 勝・大戸久一・島崎隆夫

●比企広域市町村圏組合議会議員

小林一雄・柴崎 勝

●議会選出監査委員

大塚司朗

◎＝委員長 ○＝副委員長

意見書の提出

議員提出議案

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

議員全員賛成で可決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

条例の制定

小川町子ども・子育て会議条例制定

子ども・子育て会議条例には18人の委員が選出されるが、どのような方なのか。答 子育て支援に係る業者・団体・個人、また公募は保護者の方、そのほか町長が認める方については、企業関係者・勤労者代表・計画策定に関する行政関係者等を委嘱していきます。



審議議案と議員の賛否

議 案 名	柳田多恵子	井口 亮一	高瀬 勉	島崎 隆夫	柴崎 勝	山口 勝士	高橋 さゆり	大戸 久一	金子 美登	松葉 幸雄	宮澤 幹雄	根岸 成美	松本 修三	大塚 司朗	戸口 勝	小林 一雄	審議結果
子ども・子育て会議条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
災害対策本部条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成24年度国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成24年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成24年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成24年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成24年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案																	
森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※ 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します (○は賛成、×は反対)

トイレの我慢は、
膀胱炎になりますよ！

公園整備

みどりが丘中央公園にトイレを 自治会館のトイレを使用してください



高橋さゆり 議員

質問

人が集まる公園にはトイレが必要だと思いますが、どのように考えているのか。

答弁

建設課長 公園の利用等にもよりますが、人が集まり、使用頻度が高い公園にはトイレが必要だと思えます。しかし、みどりが丘中央公園は、今までも、隣接するみどりが丘自治会館のトイレを使用させていただいていますが、現段階でトイレを設置する考えはありません。

質問

みどりが丘以外の人も使用が可能ということだが、自治会館は24時間開放されているのか。

答弁

建設課長 みどりが丘以外の人も使用できますが、24時間開放はされていません。

質問

健康器具や子どもの遊具もあり、朝や夕方には散歩をしている人がたくさんいる。子どもから高齢者までさまざまな方が利用しており、高



みどりが丘中央公園

質問

高齢者が気軽に外出できる環境づくりが大切になってくる。グラウンドは現在5団体約100人が使用しているが、自治会館が閉館しているときはどうしたらよいのか。

答弁

建設課長 近隣のスーパーやコンビニのトイレ等を使用してください。

その他の質問

◎宿泊施設の誘致
◎子どもの生命を守る

ごみ・し尿処理・消防・ 救急・斎場等の議会報告

◎比企広域市町村圏組合

(消防・救急業務、斎場の管理運営、介護・障害審査会)

平成25年第4回比企広域市町村圏組合議会定例会が、平成25年8月8日(木)東松山市議場で開催されました。人事案件1件・条例の制定2件・補正予算4件・決算の認定4件と、財産の取得として東松山消防団と嵐山消防団に、それぞれ水槽付き消防ポンプ自動車を購入する議案が提出され、すべて可決されました。なお、条例制定のうち1件は国からの要請による給与減額支給措置に伴う、職員の給与の減額も含まれました。

◎小川地区衛生組合

(ごみ処理、し尿処理)

平成25年8月29日小川地区衛生組合議会第2回定例議会が開催されました。議案は、平成25年度小川地区衛生組合一般会計補正予算と平成24年度小川地区衛生組合一般会計歳入・歳出決算の認定です。補正予算では、歳入歳出それぞれ696万8000円を減額しました。平成24年度決算は、収入総額13億8166万8000円、支出総額13億3863万6000円でした。

監査委員からの指摘報告は、「毎年のようにごみ焼却には膨大な修繕費が発生し、新たな施設更新が進捗していない大きな課題もあり、民間委託への割合が増加して、運搬・処理・処分のコストを上昇させている。次世代に明確な事業経営の方向を示すことが急務である」と厳しく総括しています。

町民の声を 町政に

町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定められており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

町有建築物・町有地の活用

町の建物・土地利用は町民の意思を

上野台中の利用は、地域の皆さんと模索

やるんだったらやり通す
倍返しだ！

質問

多くの町有建築物は経年劣化が進み、大規模な改修等が集中的に発生することが予想される。そこで、計画的な新設・長寿命化・利用転用・統合・廃止・更地化等々を進めることが求められている。同時に、町有地の利用についても、今後のあり方が問われている。

答弁

政策推進課長 課を超えた横断的な計画を策定する必要があります。懸案の上野台中の利用は、地域の皆さんとともに最適な活用方法を模索



戸口 勝 議員

行政区の再編は

質問

区長の報酬費削減の話が進んでいるそうだが、行政区の再編や4地区の枠組みの議論が先だと思える。

答弁

政策推進課長 以前、区長会と町とで枠組みについての話は出ましたが、各地区の事情により再編に至らなかった経緯があります。

その他の質問

◎災害時の井戸協力
◎町民会館の指定管理契約



活用が待たれるセビアン跡地

スポーツ振興

和紙マラソンのさらなる充実

実行委員会と協議します

変更に伴う混乱がないように願っています



高瀬 勉 議員

質問 今大会からナンバークード、計測チップを事前送付すること。変更に至った経緯・経過は。

答弁 生涯学習課長 パンフレットやポスター、町ホームページにその旨を掲載しました。開催の約3週間前に送付する際、案内の冊子も同封し、周知を図ります。

質問 生涯学習課長 受付の混雑緩和や窓口の人員削減、ナンバークードの配付誤りの解消等、メリットを考慮して、以前から検討していました。

答弁 生涯学習課長 運営に関する

質問 当初予算で賄うことは可能か。

答弁 生涯学習課長



第20回大会

質問 委託費は、前回と比べて約70万円増額となります。その他の支出を見直し、予算の見通しが立ちました。

答弁 生涯学習課長 各部門での入賞者を、前回までの10位から8位に改めます。また、副賞の景品も精査して、委託料の増額分を調整しました。

「チャンス」と受けとめて手を挙げよう！

井口亮一 議員

自家用有償旅客運送制度

活性化のために権限移譲を

現在協議を進めています

質問 国土交通省人等が自家用車で高齢者などを有料送迎する「自家用有償旅客運送制度」の事務や権限について、希望する市町村に移す方針を決めた。住民に身近な市町村が公共交通行政を担うことで、地域の要望や課題に迅速な対応ができる効果も期待されると報道されている。この制度は、買い物や通院が困難な高齢者がふえる中で、バスやタクシーがない交通空白地域でNPO法人や社会福祉法人などが



福祉有償運送車両

子どもたちが安全に通学できるのにな～

道路整備

町道部分だけ片側歩道ってどうなの？

当初の設計どおり変更しない



柴崎 勝 議員

質問 国道254号バイパス等の交通渋滞解消のため、県と小川町・寄居町で進めている道路改良事業について、町の町道部分だけが片側歩道で進められている。①今後、県・寄居町に合わせ変更する考えは ②住民の安全と交通の利便を考えているのか ③住民への説明を行なう予定は。

答弁 建設課長 ①当初の設計どおり片側歩道を進めます ②警察と協議しながら住民の安全を図ります ③住民説明の予

質問 建設課長 ①

答弁 当初の設計どおり片側歩道を進めます ②警察と協議しながら住民の安全を図ります ③住民説明の予



危険な掲示場所

定はありません。

質問 旧上野台中学校の用地活用は

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

質問 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

答弁 政策推進課長 旧上野台中学校用地にメガソーラー事業の説明会の内容と、今後の用地活用計画は。

解を得ながら再度検討していきたくと考えます。

質問 選挙用ポスター掲示場の設置場所

答弁 国道に面し、非常に危険な場所にポスター掲示場が設置されているが、今後見直しの考えは。

質問 国道に面し、非常に危険な場所にポスター掲示場が設置されているが、今後見直しの考えは。

答弁 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

質問 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

答弁 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

質問 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

答弁 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

質問 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

答弁 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

質問 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

答弁 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

質問 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

答弁 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

質問 総務課長 町内134カ所ある設置場所を改めて確認し、危険な場所については次の選挙に向けて適宜変更していきます。

学校教育

この猛暑、エアコン設置は必要です

町立小中学校9校に設置します

やったあ!!



柳田多恵子 議員



西中学校仮設校舎教室に設置されているエアコン

質問

猛暑による児童生徒の体調管理が心配。学校生活の大半を過ごす教室の室温の上昇は、扇風機等での対応では不十分。エアコンの設置をすべきでは。

答弁

学校教育課長
町立小中学校9校の普通教室にエアコンを設置し、子どもたちの健康維持と学習

公共工事を発注する町の対応は

質問

環境の向上を目指すために、今回、補正予算に設計業務委託料を計上しました。

国交省が、建設労働者の最低限の福利厚生や賃金水準を確保するために関係機関に要請を出した。公共工事や業務委託で働く労働者の賃金の低さ、重層的な下請け構造により下請けを重ねるほど賃金が削られ、最低限の福利厚生が確保されていないことなどが背景にある。公共工事を発注する立場の町はどう対応するのか。

答弁

政策推進課長
契約について

質問

は、平成25年に決定された労務単価の周知徹底とダンピング防止として最低制限価格制度による品質の確保と契約。受注者が社会保険料を適切に含んだ賃金を支払い、労働者を社会保険に加入させるよう指導強化や現場の立ち入り調査等の対策を行なっています。

答弁

政策推進課長
すでに、今年8月に最低制限価格制度要項を改定し、引き上げに見合うように改正しています。現時点では予算の範囲内で進めていきます。

質問

末端の労働者に反映させるためには、入札の際に提出を求めている「入札金額見積もり内訳書」の様式の見直しや予算の見直しなども必要では。

農業

内発的発展の町おこしを

大規模な担い手育成も検討

大豆で町おこしが可能になりました



金子美登 議員

質問

今後のTPP（環太平洋パートナーシップ）導入は、日本農業全滅という危機さえ覚える。こうした事態への打開策として、次の4点。

- ① 独自の町おこし
- ② 地場産業との連携
- ③ 地元飲食店との連携
- ④ 身近な農的資源を生かした食、エネルギー、福祉や介護の自給について。

答弁

産業観光課長
①町では、平成18年12月の本田技研工業エンジン工場等、大型企業誘致により雇用と人口増が見込ま

れ、空き家や空き店舗対策を進めます。

②と③は、今後の農業人口減少を考え、大規模な担い手農業育成も検討しています。平成22年に農林水産祭の村づくり部門で天皇杯を受賞した下里地域の取り組みは、農業と地場産業との連携が評価されたものです。今後重要な条件と考え、関連団体等と情報の共有を図っていきます。

す。

④は、フードマイレージ運動が広がり、消費者への直販の価値観が見直され、病院や介護施設が農作物自給の取り組みをする報道もありました。農的資源を生かした新たな生産環境の整備と自給する取り組みを、関係機関と研究していくよう考えています。



下里耕地でつくられている大豆（おがわ青山在来）

今すぐやろうよ！
手おくれになる前に

企業誘致

土地利用構想の再検討が重要

次期計画策定の中で検討

質問

企業誘致は、経済の活性化・雇用の拡大・町税の増収等考えられ、全庁あげて取り組むべき問題。企業が求めている迅速な対応にこたえるために、常に企業誘致可能用地をリストアップしておくべき。また町の土地利用構想予定地2カ所について、決定後7年経過しても進出企業がないのは、「道路付けが悪い」「造成費用がかかりすぎ」との懸念があり、場所の変更も含め土地利用構想の再検討が重要だ

答弁

政策推進課長
急速に変化する経済情勢に対応し、工業・流通系活用用地への立地促進と、土地利用構想に沿った秩序ある土地利用の推進・再検討は、次期計画策定の中で検討します。

少子高齢化対策

質問

少子高齢化が進むと地域の活力が失われる。当町でも今後急速に進むことは必至。特に東小川は高齢化が今後10年で加速され、早い対応対策が必要と考えるが。

答弁

健康増進課長
介護予防の地域活動組織、町の施設等で健康増進、高齢者の介護予防、生きがい活動支援、世代間交流に取り組んでいます。

質問

少子対策について、最近住宅建築した下小川地区10世帯のアンケート調

答弁

建設課長 防災にもつながることです。早急に努力したいと考えます。

充実した生活とは？ やりたいことがあること！ 一生勉強だ！

生涯学習

人生に潤い・喜び・充実のため生涯学習の推進を

研究を進めていきます



島崎隆夫 議員

質問 小川町生涯学習推進市民協議会の構成と役割は。

答弁 生涯学習課長 一般公募と学識経験者により構成され、効果的な推進のために協議を重ねて、その結果を町長に提言していきます。

質問 あおいしいきいきサポーターを生かすために、

答弁 生涯学習課長 募集や活用方法を含めて研究し、再検討を。

質問 生涯学習拠点の充実に向けて、町内の現状把握と市民ニーズを知る努力を。

答弁 生涯学習課長 生涯学習拠点の施設と機能の見直しを進めていきます。

質問 生涯学習の充実には健康であることが第一。そのためには、体力の維持や向上が大切である。利用しやすい体育施設の充実とシステムの構築に向けて研究を。

答弁 生涯学習課長 ほかの自治体の事例等から研究を進めます。

質問 ユネスコ無形文化遺産に提案された細川紙だが、本美濃紙の美濃市、石州半紙の浜田市と友好都市を締結し、決定の日を迎えるべきでは。

答弁 生涯学習課長 両保持団体との交流は行なっており、締結はいつでもできる状態だと考えています。



知識の泉＝図書館

熱中症対策

行政の取り組みが熱中症を防いだ

820 人に熱中症予防グッズを配布

高齢者皆さんの健康と意欲が大きなパワーになるんですよ！



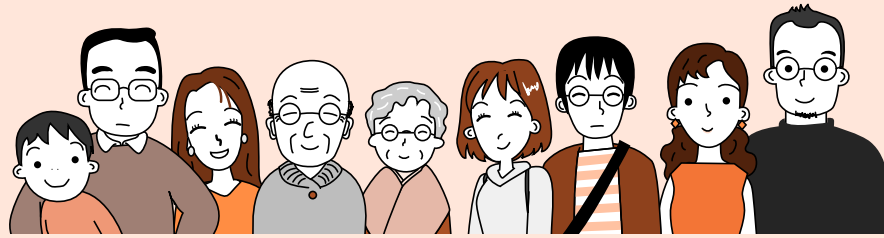
山口勝士 議員

質問 熱中症計の配布状況と効果、今年の猛暑の状況などから、今後さらにどういう取り組みが求められているのか。検討は。

答弁 健康増進課長 昨年6月に820名の方に湿度計など熱中症予防グッズを配布。この結果、65歳以上の救急搬送者は、昨年4名、今年は2名でした。今後も民生委員による定期的な訪問、地域愛育会等と隣近所における見守りを実施していきます。

町民みなさんのひ3ば

わたしのひとこと



本欄に対して思うこと

みずかみとしあき 前高谷 水上俊明



本欄に対して思うことがあります。1つ目は、本欄の意見が実際に議会に反映されたことがあるのかという点。2つ目は投稿者の氏名・居住地区の明記と顔写真の添付の必要性です。

ここで書かれた住民の意見に対して、議会側の取り組みや回答が記載されるようであれば、自覚を持って投稿すると思います。

本欄は匿名によるネットへの無責任な書き込みとは違い、投稿者の文責があるので記名は必要であるという考えがあると思いますが、性別・職業程度の記載を希望する住民も存在する可能性もあると思うので、この点についても今後検討していただけたらと思います。

議会だよりを発行する側が、本欄の役割をどのように考えているかという点と、投稿者が書く内容は密接な関わりがあると私は思います。

変化のとき

おの 小野寺重雄 深田



少し気になることがあります。公共建築物で、使用されていない建物の活用を急ぐべきではないでしょうか。建物は放置されると傷みが早く、使用できなくなります。観光施設・事業用施設として、モデルとなる施設は全国にたくさんあります。

道の駅の有効利用も含めて、関連づける要素は多々あります。財政面が改善されてきた町政において、攻める時期に来ているのではないのでしょうか。民間の力を活用して再生を考えていただきたい。小川町には、埋もれた観光施設がたくさんありますが、残念ながら連携していくという発想がありません。

豊かな自然を有効に使いながら、都心から近距離の利点を生かしてください。人が集まらない場所を放置しないで、集まれる場所を提供していきましょう。

行政の方々にお願いがあります。日本中いろいろな場所を見に行き、見識を深めてください。

東小川地区住民との協議を大切に

質問 上野台中学校の東中への統合、今回の校舎跡地利用計画の混乱など、こうした経緯の中、今後町は東小川地区の現状と課題をどう把握し、どういう方向、手立てを考えていくのか。

答弁 政策推進課長 上野台中学校の跡地利用、空き家管理、高齢化の急速な進展、買い物弱者、路線バスの維持確保など、どの課題も第一に地元の方々の理解が得られ



高齢者皆さんの元気が町を支えます

ユネスコ申請の意義は

質問 細川紙のユネスコ無形文化遺産登録申請は、当町にとってどのような意味・価値を持つのか。また、持たせるのか。

答弁 生涯学習課長 今回申請の石州半紙、本美濃紙と連携し、手漉きの伝統技術をどう残していくかという責任。また来町者の増加見込みなど、今後できる準備を進めていきたいと思っています。

我が町 再発見 人々を和ませる彼岸花



9月の彼岸に見ごろを迎えた群生

槻川の岸辺に、毎年真っ赤な花を咲かせる彼岸花。秋の彼岸の時期を待つように群生で咲きます。この場所は、腰中地区の切通橋付近です。槻川の河川敷を中心に咲き、川のせせらぎとともに見る人を和ませます。

ここは毎年、腰中地区の人たちが年3回に分けて草刈りをして手入れをした結果、すばらしい群生地となりました。

切通橋近辺は、春には桜で華やぎ、夏は川遊びやバーベキューを楽しむ人々が年々増え、町県内の人々の憩いの場となっています。



やまざき やすお
腰中区长 山崎安雄



編集後記

今定例会から議会体制が新しくなり、編集を担当する議会広報発行特別委員会の構成も新しくなりました。

久々の出番となりました。率直に「伝えたい、そしておもしろい!」と思えるような、やわらか・まじめな議会報を目指し、頑張ってます。

編集委員 戸口 勝

議会の『今』をお伝えできるように努めます。また、小川町の将来像を皆様と共有できるような分かりやすい紙面をつくってまいります。(^-^)

編集委員 島崎隆夫

親しまれる議会報を目指して3つの約束。

- ①文字数を削減します!
- ②難しい言葉は使いません!
- ③.....!

編集委員 高瀬 勉

カメラをほとんど使ったことがない私です。どんな試練が待ち受けているのでしょうか? ハラハラドキドキうご期待!! (笑)

編集委員 高橋さゆり

皆さん意欲的!! 各編集委員の熱い思いをどう生かしていくか。コーディネーターとして、魅力ある紙面づくりに全力で、この2年間取り組みます。

編集委員長 柳田多恵子

議会報・表紙写真の重要性を実感。白熱した、緊張感のある質疑をそのまま伝え、少しでも興味を持っていただける議会報を!!

編集副委員長 大戸久一

会議録が検索できます

下記ホームページから、会議録の検索・閲覧ができます。ぜひごらんください。

小川町ホームページ
↓
小川町議会
↓
会議録



この広報は古紙を配合した紙を使用しています。

議会だより おがわ No.69

小川町議会だより 69号
平成25年11月1日発行

発行: 埼玉県小川町議会 編集: 議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長	小林 一雄
委員長	柳田多恵子
副委員長	大戸 久一
委員	戸口 勝
委員	高橋さゆり
委員	島崎 隆夫
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

12月3日(火) からです